

競 技 注 意 事 項

1.競技規則 本大会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合せ事項によって行う。

2.変 更 ①当日の種目及び選手の変更は一切認めない。
②プログラムの訂正については競技開始1時間前までに受付へ届け出ること。

3.招 集 ①招集場所は200mスタート地点、バックスタンド下エントランス付近とする。
招集場所には競技場外から入場すること。
②トラック競技は競技開始35分前から20分前までに招集し、10分前に現地に集合。
③フィールド競技は競技開始55分前から40分前までに招集し、30分前に現地に集合。
④リレーのオーダー用紙は、競技順序記載の時間に招集所に提出、10分前に各スタート地点に集合。
⑤招集は本人が行い、アスリートビブスと競技用シューズの確認を行う。
⑥トラック競技出場者は招集時に腰ナンバー標識を受け取り右腰につける。
⑦リレーと個人競技の時間が重なる場合でも必ず個人種目の現地で招集を行うこと。
その際リレーの現地に代理人を立て、その旨を審判員に申し出ること可とする。
⑧招集に遅れた競技者は棄権とみなし、競技に参加できない。

4.練 習 ①プログラム記載の場所、時間を厳守し、競技役員の指示に従って行うこと。
②投てき・跳躍種目は指定された場所及び時間以外は練習禁止とする。
③雨天走路へのスタブロ、ハードルの持込は禁止。
④開会式終了後、時間帯によって走路を開放することがある。

◆主競技場(キオンスタジアム) ※アナウンスにて通告後、8時30分まで使用可	
*1～2レーン	周回練習(ジョグ)
*3～5レーン	快調走(流し・スピード走)、コーナー走
*6～9レーン	スプリント(ダッシュ)練習(バックストレート)
*6～9レーン	ハードル練習(ホームストレート)
◆雨天走路場	
*1～3レーン	スプリント(ダッシュ)
*4レーン	通路(徒歩のみ)
*レーン外側はジョグ専用とし、右回りを遵守すること。	
◆サブ競技場(キオンフィールド) ※8時30分より使用可	
*1～2レーン	周回練習(ジョグ)
*3～4レーン	快調走(流し・スピード走)、コーナー走(ホームストレート)
*3～4レーン	バトン練習(バックストレート)
*5～6レーン	ハードル練習(ホームストレート)
*5～6レーン	快調走(流し・スピード走)(バックストレート)

5.アスリート
ビブス ①主催者側が用意するアスリートビブスを使用し、安全ピンは各自で用意すること。
②アスリートビブスはそのままの大きさで胸と背部に確実に固定すること。
跳躍競技については胸か背部どちらかでよい。
③腰ナンバー標識は右側につける。
④5000mは招集所で配布する特別ビブスを胸・背に付ける。
⑤アスリートビブス、腰ナンバー標識は返却せず持ち帰る。

6.競技シューズ ①スパイクシューズのピンについて(日本陸連競技規則TR5.)

トラック種目	9mm以下 11本以内
フィールド種目	12mm以下 11本以内

②競技用シューズの靴底について(日本陸連競技規則TR5.)

トラック種目フィールド種目ともに20mm以下(中敷きを外して)

7.用 器 具

①投てき種目は競技場の備品を使用する。個人の用器具の使用は一切認めない。

②投てき用具の重さは以下のとおりとする。

砲丸投 高校・一般	男子(7.260kg)、女子(4.000kg)
円盤投 高校・一般	男子(2.000kg)、女子(1.000kg)
やり投 高校・一般	男子(800g)、女子(600g)

8.トラック 競技について

①スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられることがある。

②本大会は、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格(レッドカード)とする。ただし、競技会からは除外しない。

③予選の参加人数が当日9名以下となった場合は、予選を行わず決勝のみとする。その場合のレーンについては、招集時間終了後アナウンスにて通告し、大型スクリーンに表示する。

9.フィールド 競技について

①走高跳以外のフィールド競技について、試技3回とし、上位8名が更に3回の試技をもって順位を決める。

②三段跳の踏切板は砂場より10m、12mの位置に設置する。

(当日変更することがある)

③走幅跳はトラック側をAピット、スタンド側をBピットとし、プログラム記載のピットで行う。

④走高跳の高さ、上げ方は次のとおりとする。(当日変更することがある)

男子	1m60から5cmずつ上げる
女子	1m25から5cmずつ上げる

⑤走幅跳の計測ラインは次のとおりとする。(当日変更することがある)

男子	5m50
女子	全員計測を行う

10.得点・表彰

①1位8点、2位7点、3位6点…8位1点とする。

②北相の部は決勝の1~3位・対抗得点の団体上位1~3位に賞状を授与する。

③男女総合優勝チームには優勝杯を授与する。

④確定結果(大型スクリーン表示)から30分後に表彰を行います。
3位までの入賞者はエントランスに集合してください。

11.個人情報

①大会申込書に記載された個人情報及び競技結果は大会プログラム・アナウンス・掲示物・ホームページ等で公開されることがある。

②個人情報に関するご質問は大会本部に申し出る。

12.入退場等

①グラウンドへの入場は招集所からできる。

②エントランス(玄関ホール)への入場は管理事務所側からとする。

③エントランスからグラウンドへの入場はできない。

④選手・競技役員・補助役員以外はトラック・フィールド内には入れない。

⑤メインスタンド前は、競技役員・補助役員・走幅跳・三段跳びの選手以外通行できない。

⑥選手がフィニッシュしてからスタート地点に戻る場合は、バックストレート側を通して戻るようにする。(メインスタンド前は通れない)
メインスタンド下の廊下を通して戻る場合はスパイクを脱ぐこと。

13.応援・
マナー

- ①競技エリアからの指導・指示・応援は助力となり選手が失格となることがある。
(日本陸連競技規則TR6.)
- ②フィールド種目について、競技中の助言・指導は競技場内に設営したコーチングエリアからのみ行うことができる。また、コーチングエリア近辺で録画再生機器や録画映像の持ち込み、競技者は手にとって確認操作できる。
- ③競技エリアへの携帯電話などの電子機器の持ち込みはできない。(TR6.3.2)
- ④リレー・走高跳等のマークは、チーム・個人の責任ではがす。
- ⑤スタートを知らせる合図(音楽・ホイッスル等)で観客・待機選手は応援・私語を止め、その場で静止してスタートを待つ。
- ⑥スタンド最前列での立っての応援はしない。
- ⑦ごみは各自持ち帰り、競技場周辺や帰り道のコンビニ等のゴミ箱に捨てない。
- ⑧グラウンド内での写真撮影は禁止とする。(取材等は大会本部まで申し出る)

14.感染症対策

- ①大会会場の相模原ギオンスタジアムのルールを遵守する。

15.その他

- ①貴重品の管理は各学校・団体・個人で責任をもって行う。
- ②参加するチームより補助役員として1名以上、審判に御協力ください。